



Title	Gallia 65号 あとがき/奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2026, 65
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/104498
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

あ と が き

井元秀剛教授が退職されます。先生のこれまでのご功績と本会へのご尽力に、重ねて心からの敬意と感謝を捧げます。先生のご退職は大変寂しく思いますが、今後もいっそう本会の活動と、大阪大学におけるフランス語・フランス文学の教育研究の発展に尽くす所存です。井元先生には、今後もわれわれ後輩を見守り、本会の諸活動の機会をはじめとするさまざまな場で、引き続きご指導ご助言をたまわりますようお願いいたします。

今年度も海外から多くの研究者が来訪されました。2025年4月にはフレデリック・ケック先生によるレヴィ＝ストロースと芸術に関する講演会、5月にはシャルル・ヴァンサン先生による革命以前の公衆に関する講演会、さらにアントワース・コンパニオン先生による『エッセー』と『パンセ』を対象とした「閑暇」と「信仰」に関する講演会、アンドレ・ギュイヨー先生によるプレイヤード叢書新版『ボードレール全集』に関する講演会、そして10月にはロリス・ベトリス先生によるロンサルに関する講演会を開催いたしました。いずれも大変豊かな内容の講演となりました。ケック先生、ギュイヨー先生、昨年講演されたヴァンドゥール先生の三論文は今号に掲載しておりますので、どうぞご一読ください。

また芸術に関する素晴らしいイベントも引き続き開催されました。10月のカトリヌ・ロングリー氏（写真家・芸術家）による講演会では、女子相撲や食などについて、大変興味深いお話を伺いました。11月には昨年に続き青柳いづみ氏（ピアニスト・文筆家）によるサティと映画に関するレクチャーコンサートが開催され、共催下さった芸術学専攻東志保准教授等の解説や貴重な映画の上映もあり、大変充実した内容でした。残念ながらこの催しは今年度で最後になりますが、言語文化学専攻のフランス語部会、外国語学部フランス語専攻にも共催としてご協力いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

今号は5本の力作論文と先述の3本の講演録、そして井本先生退官記念エッセイを12本掲載することができました。執筆者の皆様、論文査読委員各位、そして学生編集委員諸君に心より感謝申し上げます。来年度も会員のみなさまのご寄稿をお待ちいたしております。また末筆となりましたが、みなさまのご健勝を祈念いたします。

（平光 文乃）

GALLIA LXV

2026年2月25日印刷・3月7日発行

編集発行者 大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 山 上 浩 嗣

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学人文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : 1953gallia@gmail.com

URL : <http://www.gallia.jp/wordpress/>

表紙デザイン 辻村紀子